

新たな国土形成計画（広域地方計画）

新たな全国計画（H27. 8閣議決定）を踏まえ、**全国8ブロック**について、国、地方公共団体、経済団体等で構成する広域地方計画協議会における検討・協議を経て、**概ね10年間の国土づくりの戦略**を策定しました。

（基本的考え方）

- 個性豊かな地域が相互に連携することにより、ヒト、モノ、情報等が双方向で活発に行きかう「対流促進型国土」の形成を基本として、「コンパクト＋ネットワーク」により、「稼げる国土」、「住み続けられる国土」の実現。
- 各地域の独自の個性を活かした、これからの時代にふさわしい国土の均衡ある発展の実現。

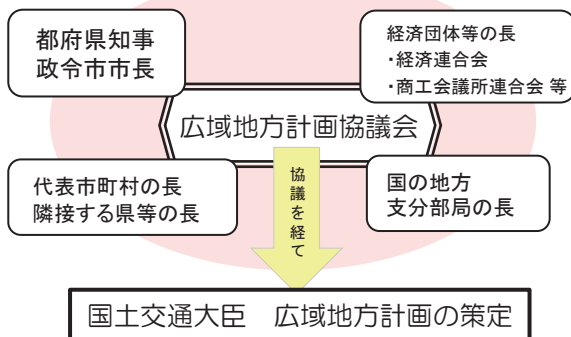
各ブロックに共通する主な取組

- 必要なインフラ整備の推進、ストック効果の最大化等による生産性向上・産業の競争力強化
- 官民連携による魅力的な観光地域づくりの推進、インバウンドの更なる拡大
- 地域特性に即した防災・減災、老朽化対策、国土の強靱化による安全・安心の確保
- 地域を支える担い手の育成・確保、持続可能な地域の形成

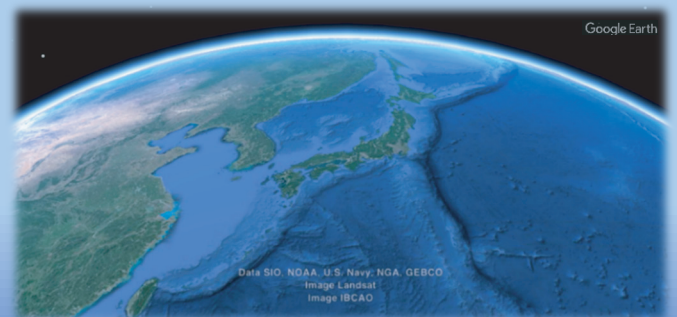
国と地方の協働による広域ブロックづくり

国、地方公共団体、経済団体等で構成する「広域地方計画協議会」において検討・推進

省庁・自治体・官民の枠を超えた連携の推進



広域地方計画の区域



広域地方計画協議会を中心として、国と地方、官民の連携により計画を推進

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

東北圏広域地方計画

震災復興からの自立的発展へ

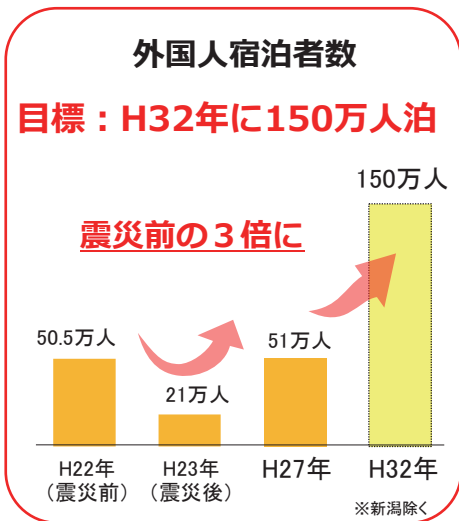
○首都圏・北海道・北陸圏の連携

北海道新幹線 H28.3.26開業



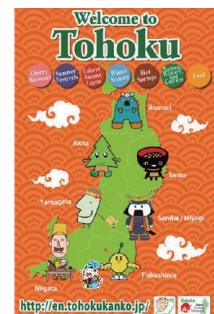
出典:JR北海道

○空港路線・港湾機能の拡大

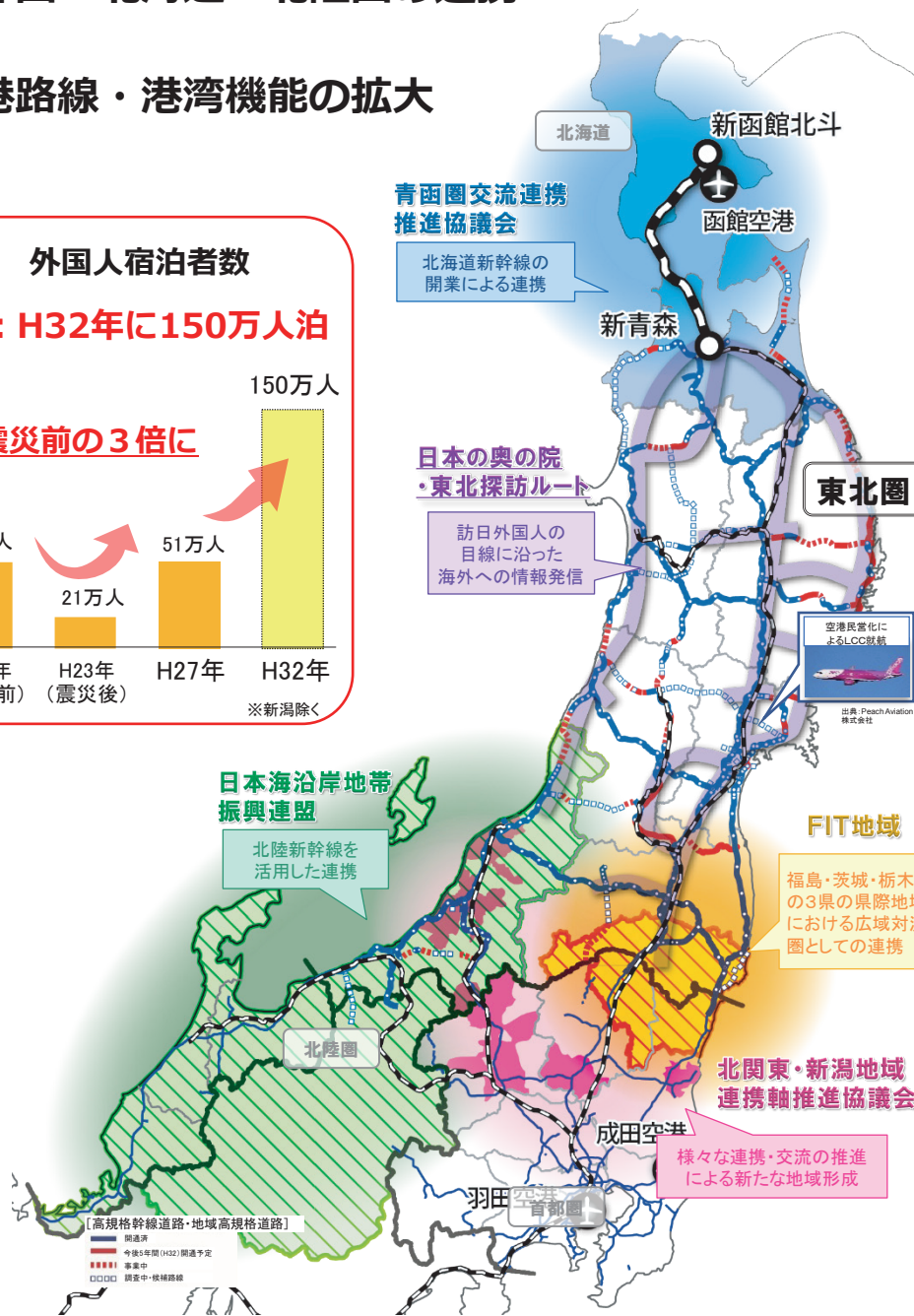


○外国人観光客に向けた環境整備

【無料Wi-Fi環境の整備促進】



出典:NTT東日本HP



○冬期観光

地吹雪体験ツアー
 (青森県五所川原市)



出典:東北観光推進機構HP

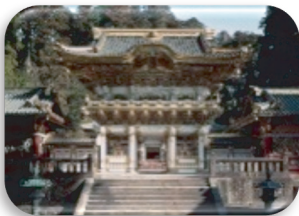


ストーブ列車(津軽鉄道)

広域観光周遊ルートの形成

首都圏広域地方計画

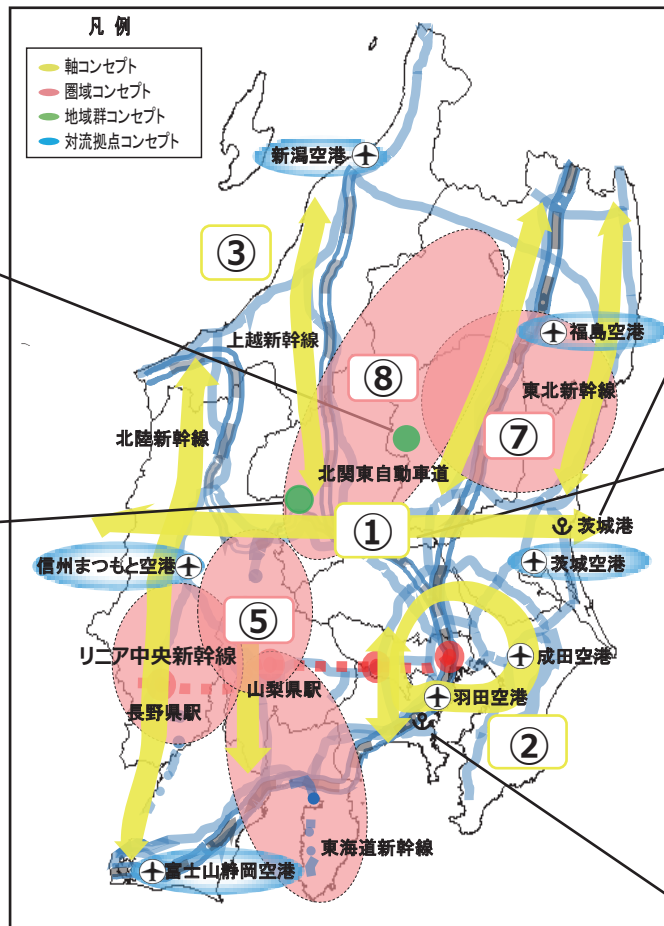
安全・安心を土台に 洗練された対流型首都圏の構築



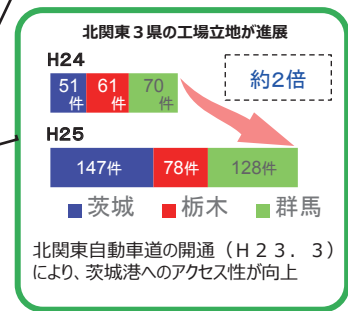
日光の社寺



富岡製糸場と絹産業遺産群



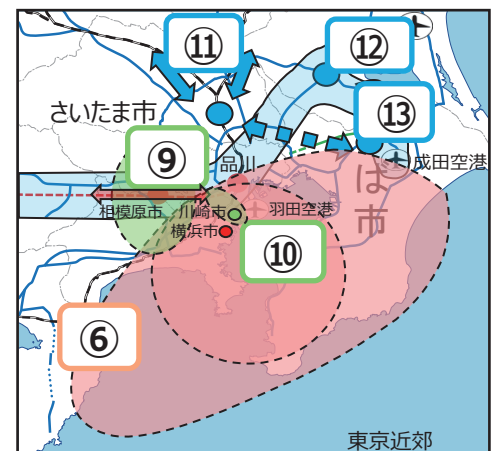
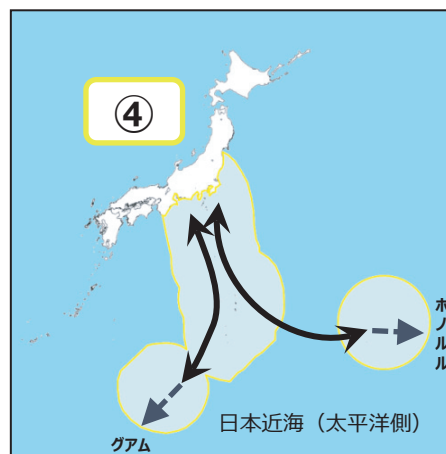
LNGタンカー入港



横浜港大さん橋
国際客船ターミナル

1 3の連携のかたまり

- ①：北関東新産業東西軸
- ②：東日本と西日本、さらには世界をつなぐ新たな物流軸形成
- ③：首都圏による日本海・太平洋二面活用
- ④：海洋国家未来軸
- ⑤：富士山・南アルプス・八ヶ岳対流圏
- ⑥：海洋文化都市圏
- ⑦：F I T 広域対流圏
- ⑧：日光・会津・上州歴史街道対流圏
- ⑨：首都圏南西部国際都市群
- ⑩：多摩川国際臨空拠点群
- ⑪：東北圏・北陸圏・北海道連結首都圏対流圏
- ⑫：つくばを中心とした知的対流拠点
- ⑬：国際空港近辺の卸売市場の輸出拠点化

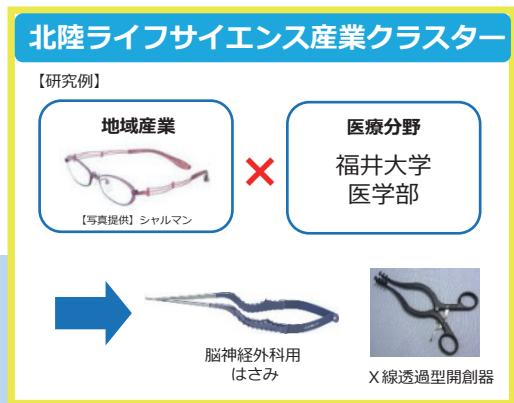
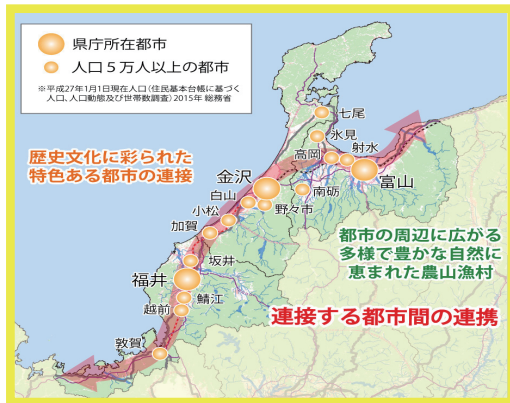


対流型首都圏の構築

・対流を生み出す「1 3の連携のかたまり」を首都圏全域で創出し、対流型首都圏を構築することにより、東京一極集中の是正を図ります。

北陸圏広域地方計画

日本海・太平洋2面活用型国土の要



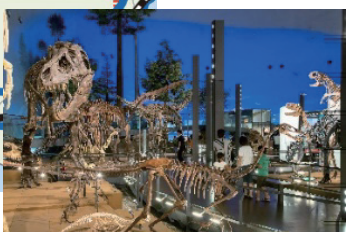
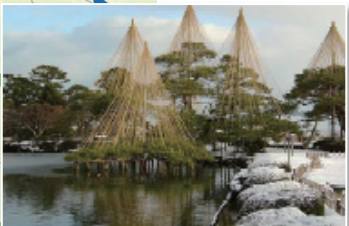
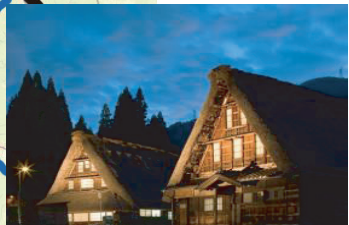
北陸圏

- ・ 繊維産業、新素材産業の技術蓄積
- ・ 炭素繊維複合材料の研究開発・生産



中部圏

- ・ 自動車、航空機等メーカーの集積
- ・ 炭素繊維複合材の応用研究加工・組立



北陸圏・中部圏の両圏域が持つ産業特性や強みを活かし、太平洋から日本海に至る広域で多様な産業クラスターを形成し両圏域の生産性向上。

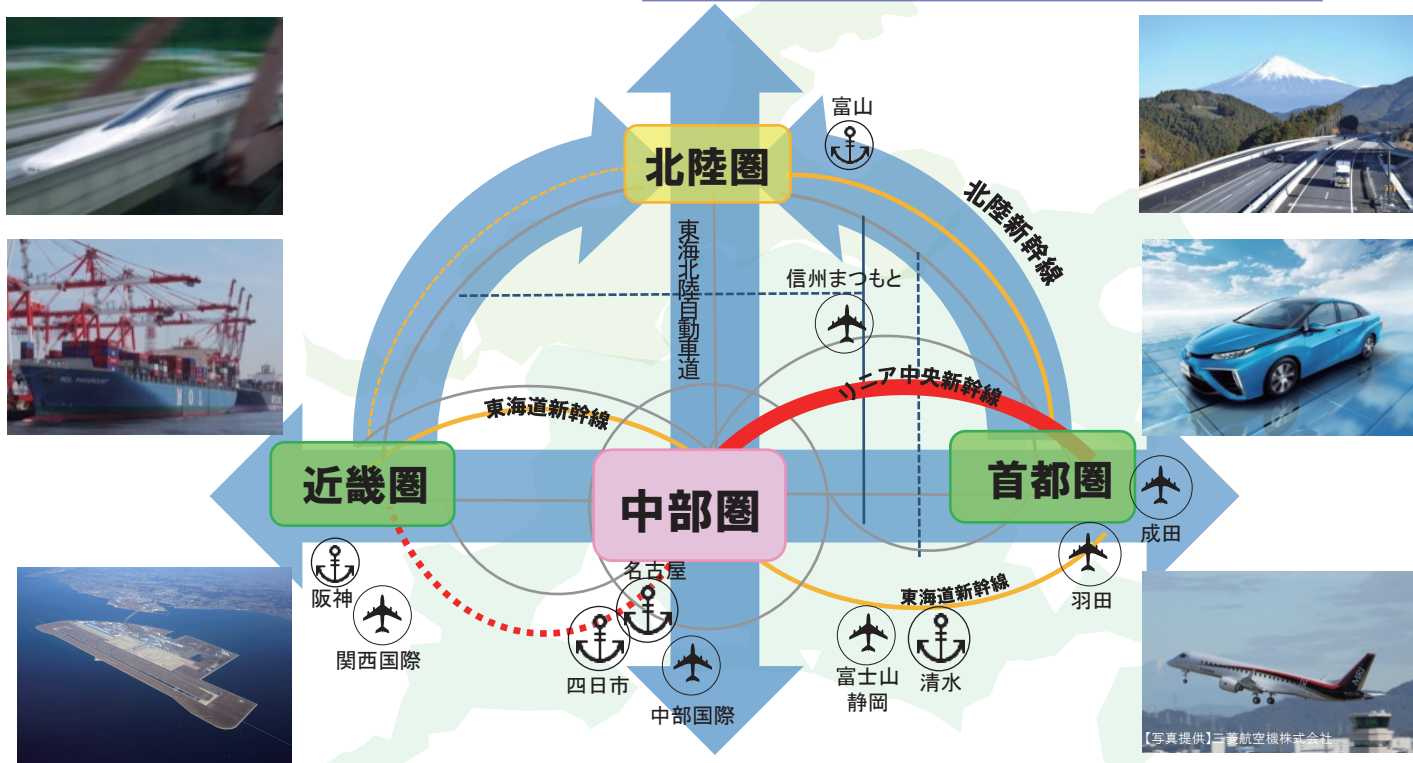
更なる安全・安心、環境豊かな暮らしの充実へ
中部圏との連携により炭素繊維複合材の世界的クラスターへ

中部圏広域地方計画

世界ものづくり対流拠点

リニアを活かした新たな中部圏の形成

～日本のハートランド・中部～



広域的な連携により創り出す都市圏・地方圏の形成

〈三遠南信地域連携〉



新産業

(輸送機器用次世代産業技術、新産業、健康医療関連産業、光3H1*産業)



PET診断技術
(浜松・東三河ライフサイエンスイノベーション健康・医療関係の製品例)
【写真提供:浜松市】

航空宇宙産業



産学官が連携
「三遠南信クラスター推進会議」

食品加工業（酒造業）



農産物（サツマイモ）

愛知県田原市で収穫
↓
長野県飯田市で原酒を製品化

近畿圏広域地方計画

歴史とイノベーションによる アジアとの対流拠点

バッテリー戦略研究センター

研究所・生産拠点の立地促進

リチウムイオン電池生産額
2,300億円 (H22年)

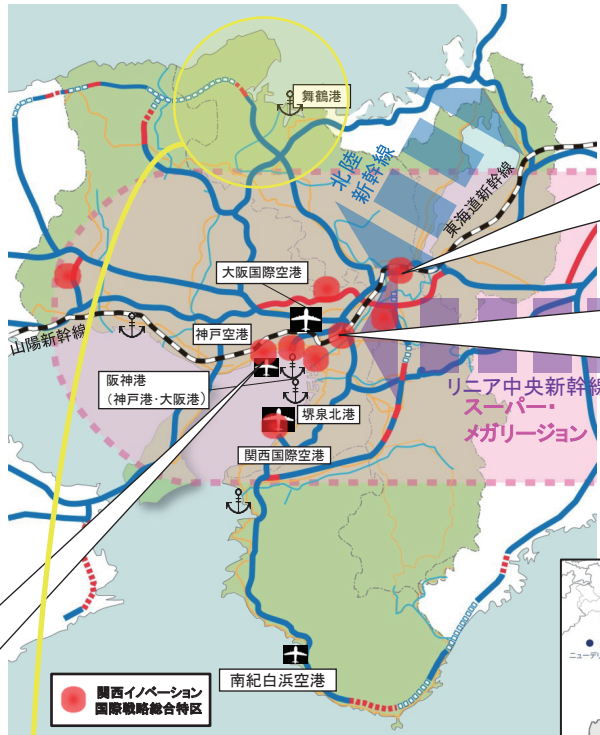
↓

3兆8,500億円 (H37年)
(関西 目標値)

関西
シェア日本一
6割

近畿経済産業局「平成24年主要製品生産実績」

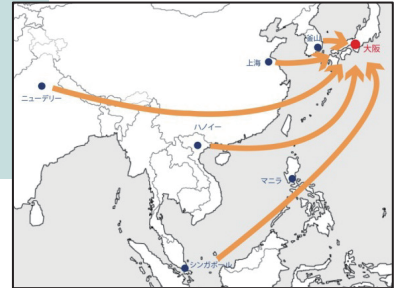
神戸医療産業都市



IPS細胞研究所

うめきた ナレッジキャピタル

関西国際空港：
アジアからの来訪者が急増



京都府北部地域（5市2町） 総人口29.4万人、域内総生産1.1兆円の圏域

対流事例

地域の食×景色×鉄道

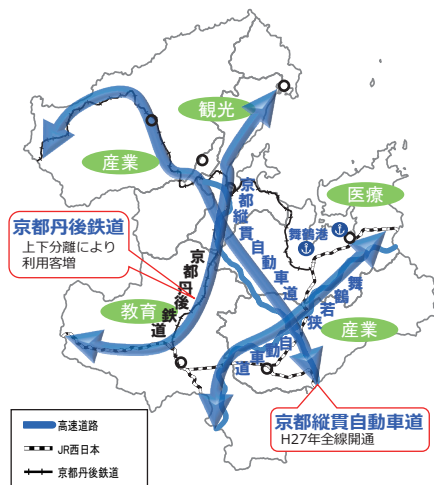
レストラン列車くろまつ号



対流事例

丹後ちりめん×ファイバーテクノロジー

スパイダーシルク製品開発



「海の京都」ブランド
による観光プロモーション



観光資源（伊根の舟屋群/天橋立）



複数の都市等がネットワークの強化等により連携

中国圏広域地方計画

瀬戸内から日本海の多様な個性で 対流し世界に輝く



石見銀山遺跡

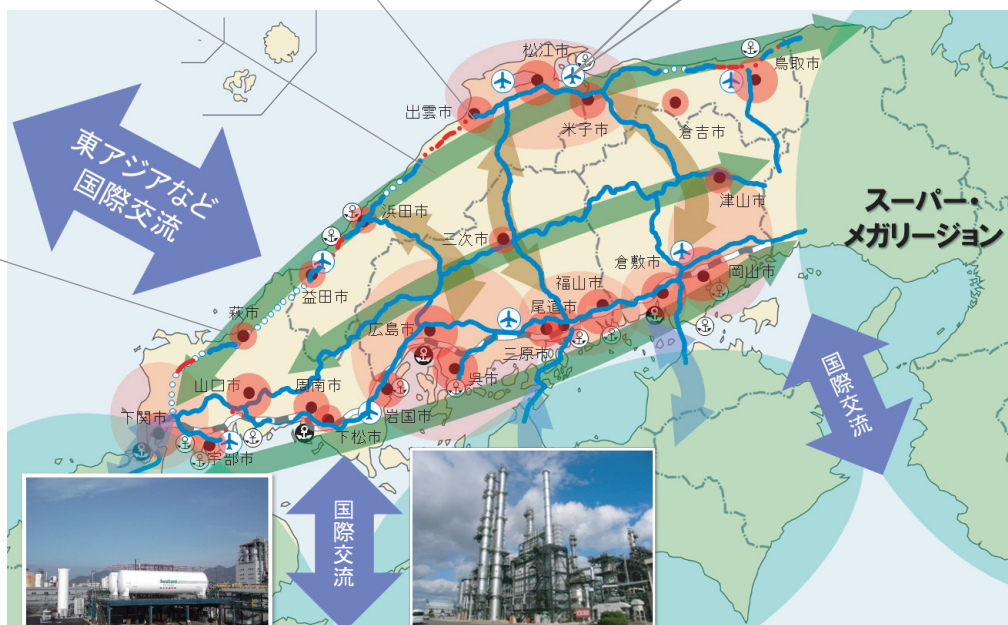


出雲大社

○都市間連携の推進 【中海・宍道湖・大山圏域】



萩反射炉



液化水素製造プラント

コンビナート

○地域の魅力を活かした移住・定住の促進

【A級グルメのまち（島根県邑南町）】

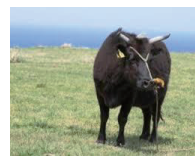


広島から
高速道路で
1時間！



地産地消レストラン

年間売り上げ: **3200万円**
年間来場者数: **2万4千人**



石見和牛



就農希望者への農業研修

圏域を越えた対流で世界へ発信

○美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化

サイクリストの聖地

日本最後の清流 四万十川

お遍路等の国際的な評価

米 ニューヨーク・タイムズ紙で「2015年に行くべき52カ所」に日本で唯一「四国」が掲載

岩屋寺 (愛媛県)

せとうちのアート

鳴門の渦潮

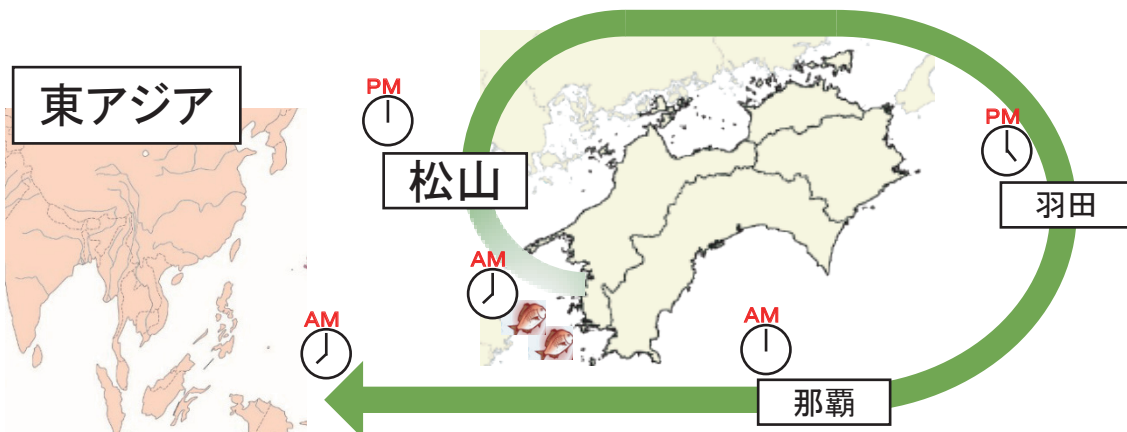
伝統芸能 阿波おどり

広域観光周遊ルート
■ せとうち・海の道
■ スピリチュアルな島〜四国遍路〜

ホエールウォッチング

吉野川激流ラフティング

○地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化



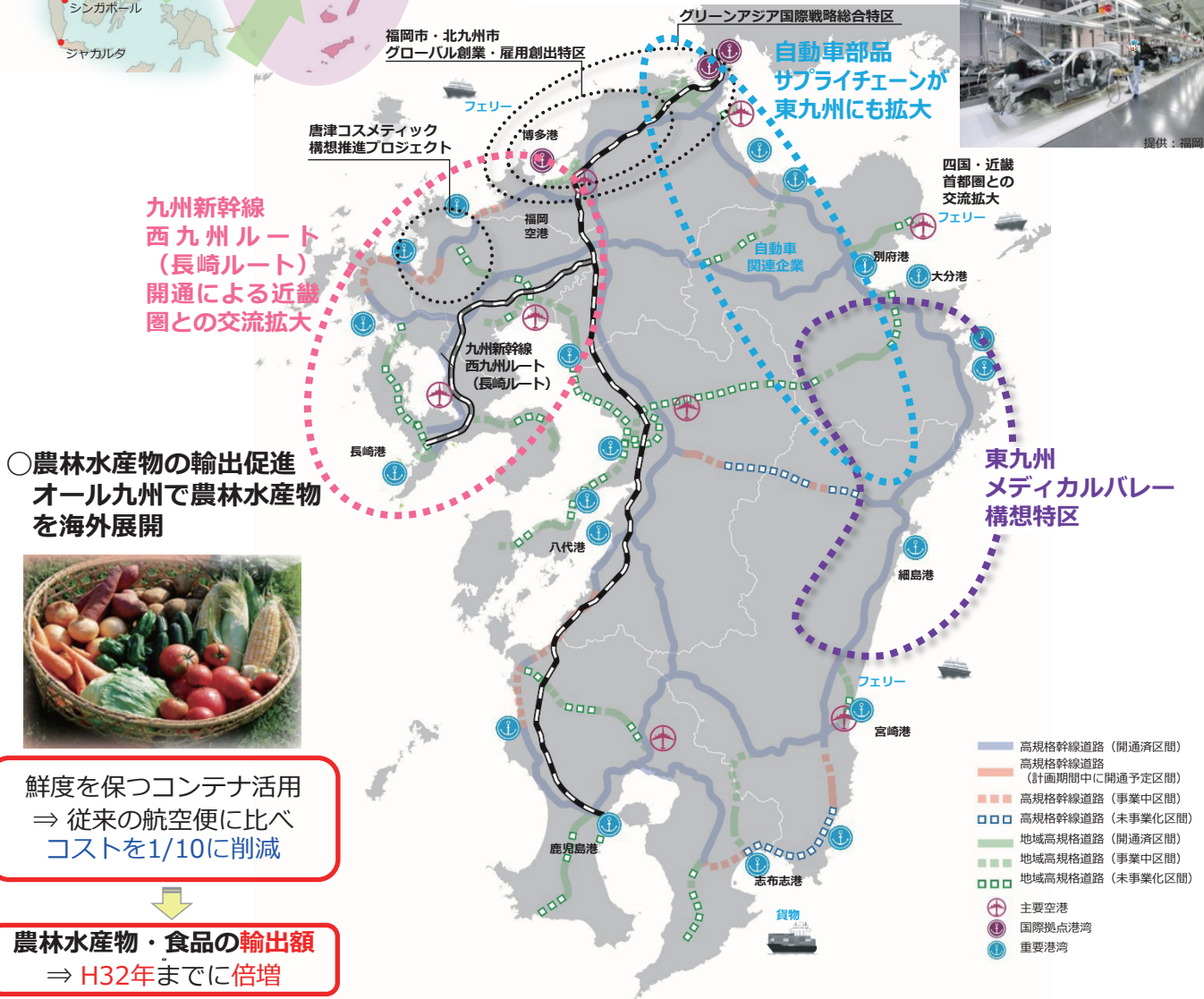
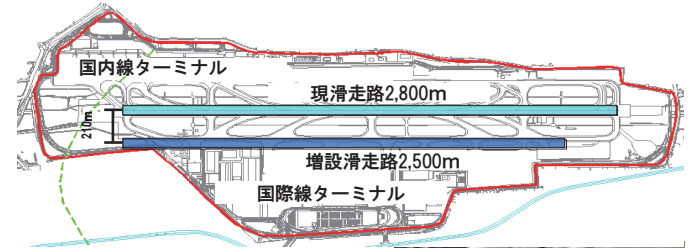
生鮮食品を翌日には東アジアの食卓へ
生鮮食品をいち早く東アジアの市場に届けることが可能に。

九州圏広域地方計画

日本の成長センター ～新しい風を西から～



○福岡空港滑走路増設



○農林水産物の輸出促進 オール九州で農林水産物を 海外展開



鮮度を保つコンテナ活用
⇒ 従来の航空便に比べ
コストを1/10に削減

農林水産物・食品の輸出額
⇒ H32年までに倍増

「ゲートウェイ九州」の形成 “基幹産業や地域産業の活性化”

個性と連携で「対流」を
～対流促進型国土の形成～



国土交通省

MLIT

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

発行 国土交通省 国土政策局 広域地方政策課

詳細は国土交通省ホームページへ

広域地方計画

検索

